



Title	日米関係（沖縄返還）5( 総理・ウィーラー/大臣・ウィーラー（一・八）   外務省外交史料館レファレンス番号：nd )
Author(s)	-
Citation	平成30年度外交記録公開   公開日：2018年12月19日   外務省外交史料館管理番号：2018-0844   CD・DVD番号：H30-001
Issue Date	
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43777">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43777</a>
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

総  
理  
・  
ク  
ー  
ラ  
ー

大  
臣  
ク  
ー  
ラ  
ー

（  
○  
）  
ハ  
イ

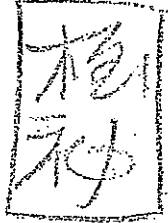
大 塚

米 統 導 長

米 統 導 長

米 統 導 長

米 統 導 長



總理 米統導長 會議

44.10.8

10月8日午後 5-5-1 米統導長 總理  
會議 全體 宗旨 為 的 あり 薩摩 市 府 長 官  
本 務 司 長 官 米 統 導 長 米 文 使 等 在 席 米 統 導 司 長 官

薩摩 — 米統導長は過去5年来 最も 高 價 米 穀  
12 あり 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀  
米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀

米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀  
米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀

米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀  
米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀

米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀  
米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀

米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀  
米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀 高 價 米 穀

高 價 米 穀

消息が重要になって 務めて 消息せざるを得  
たしつた等の といふ事。

1年 前までは 70% 以上は 30% 以上は 北越兵 である  
たものか 全く 逆の 割合に なる。 北越の Vietnam

と 共に 北越の North-Vietnamese が 進んで  
いる。 只 北越の 北越の 北越の 北越の 北越の

進んで "A-B" 地帯が 増えている。

概況一 北越の 北越の 北越の 北越の 北越の

概況一 北越の 北越の 北越の 北越の 北越の  
北越の 北越の 北越の 北越の 北越の

概況一 北越の 北越の 北越の 北越の 北越の  
北越の 北越の 北越の 北越の 北越の

概況一 北越の 北越の 北越の 北越の 北越の  
北越の 北越の 北越の 北越の 北越の

擧兵の促進については、南軍軍の自衛を喪失せしむること、武器に習熟せしめる余給を造く

ことの2頁に留意するゆゑあり

總理—ラファの擧兵は先般ルマ首相から懸念あり、亦これに就き情状のやり方に變化ありと見らるや

りと思はるや

擧兵—ラファの擧兵と政府軍が北と南で大なる結果を擧げたるが、亦の死と関係ありや否やは

分らぬ、94年1524の北軍軍が弱部いゝあるから政府軍は奮をうけつたはたしぬ

總理—ラファは旅しよんか、加ボ命はたおへ、米田と旅をたよへに持つて行くこともたつた

甲長不度軍に北軍軍がたつたか、北軍と甲長軍との間に内兵をどう見らるか

消息一 北條から見ればソ連は武蔵の信託  
手であり、東北閣の環境と接しており 素行

良好なる関係を有する。中東とより以上に  
環境を共にしてゐる云々 事實から 維持

せざるを得ない。これは 加本行の北條と其  
境を接して其意図を燃れ 中東北條の旨

に 維持を 手係に したる 9.19.17 である

総理一 北條が中東寄り には 7.20.12. EC  
の如き事件の可成性が増えるから 米国の

不届で 交する べきが 意図 あり 米側も  
交する 故である

消息一 金田のやうな 経人 には 己の  
の目的と考へる 故に 従つて 正確に 計算 せぬ

たき である。目的とは 米露 露向 (何れが)

大隈後方野戦軍により、糧食を12割奪せしめる)、米軍撤退、吾等隊を妨害する。

米軍の目的は、あくまで「新軍を抑止すること」であり、新軍の発展を願わない。

新軍の方と云ふものは、廣く「物」であつて、不寧とし、今日の時機には、換金力だけの一種である。

津尾にかける懸断崖が、抑止方として、極めて重要である。と云ふ事は、自分が「この」際、

うとにも、意外にないことである。

原理 — 津尾にどういふ換があるのか、与いのか、自給は、どうなるか? これは、つかぬ問題である。米

月津尾通過という問題を持つて、訪米するか? 意分の理解にて、進めようことを期する。

注意 — 双方に協定を解決か、歸すれ、存じぬか

たうらん、大鏡館が理解を以て亦也之なりこと  
能なるか、米門に月影のありことを言つて

裁可なり、要は相互理解であると思ふ。

原理— 自分は自衛隊の操司令官であるか  
文官である、文官である自分と 制服の隊長

では自ら 考方の服違かあるか、國の若者と  
云ふことを通訓に考へてゐる点では、意見を

の大小の差はあれ 文官である米國大鏡館と  
同じである。

旅長— 御役の通り 文官と裁可では考方の違  
異がある、自分は 最善指揮官である 大鏡館の

下で 最善を考へたいと 会すところである。

本日の考案ある 会後には 若くは 御礼傳上4等